

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ブラジル大使館

記入日 平成 25 年 1 月 31 日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

特になし

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向（改正等がなければ記入不要）

・2012年12月に成長加速計画（PAC）の予算執行に関する法律（第11578号）が改正され、PAC事業の調達において、ローカルコンテンツ要求を定めることができる旨の規定が新たに盛り込まれた。これを受け、2013年1月の大統領令（第7888号）において、PAC都市交通プログラムの調達について、一部工業製品調達における国内調達率80%以上、一部サービス調達における国内調達率100%とすることが発表された。

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	外国建設企業の伯市場への参入増加 【記事概要】 ・欧州の経済低迷もあり、外国建設企業、特にスペイン企業がブラジルインフラ市場に注目。 ・ブラジルでは、道路、鉄道、港湾等のインフラプロジェクトが今後多く見込まれており、外国企業にとって魅力的な市場。 ・建設企業がブラジルで従事するには、様々な規制があるため、外国企業はブラジル企業の買収・連携を行う傾向にある。しかし、ブラジル企業の価値が上がっており、買収は困難になりつつある。	2013/1/28 エスタード・デ・サンパウロ紙	あり なし

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

特になし